

W E L C O M E !

3D MUSEUMへ、ようこそ！ 3D MUSEUM…それはゲームでもデータベースでもなく、純粋に3D＝立体感の世界を楽しくインタラクティブに鑑賞していただくための映像美術館です。レーザーアクティブの高画質・高音質なくしては実現しえなかった、未体験ゾーンの3Dワールド。まさにそんな形容がピッタリの迫力と興奮の連続。かつて見たことも感じたこともない視覚体験と聴覚体験の世界へとあなたを引きずりこむ、まったく新しいバーチャル・リアリティ体験ソフト、それが「3D MUSEUM」です。



3D MUSEUMは、DELIC SIDE (A面) と PEACE SIDE (B面) で構成されています。

「3D LIBRARY」を収録したDELIC SIDEでは、コンピュータ・グラフィックスをふんだんにとり入れた衝撃の3D体験を。そして PEACE SIDEでは大いなる自然美をフューチャーし、音楽と映像が生み出す至福感をテーマにした「MUSIC ODYSSEY」を収録。

DELIC SIDE/PEACE SIDEとも、世界を舞台に活躍する映像クリエイター・中野裕之が創りあげた驚異の3D映像に、ウインダムヒルの野中英紀ほか、細野晴臣、GOH HOTODA、清水靖晃、マルコ ボスコ、WONG WING TSTAN、コシ ミハルらのトップ・アーティストによる音楽、ローランドR S Sシステムを使用した3Dサウンド・エフェクトで全編を官能的にプレゼンテーションします。3D MUSEUM がご案内する、かつてない感動と至福の3D体験のひとつときを、たっぷりとお堪能ください。

3D MUSEUM
ENTRANCE

DELIC SIDE
3D LIBRARY

PEACE SIDE
MUSIC ODYSSEY

DELIC SIDEに収録された「3D LIBRARY」はコンピュータ・グラフィックスを多く使用した様々な立体作品やステレオ写真等の3D映像をいわば常設展的に見せる映像ライブラリーです。その鮮烈な3Dの世界は、どっぴりはまることうけあい。入り込むうちに、だんだんと気持ちを元気にしてくれます。エンドレスのループで、はまりっぱなしもOK。ボタンをクリックすれば、どこに飛ぶかわからないという楽しみもあります。

PEACE SIDEに収録された「MUSIC ODYSSEY」はレーザー アクティブならではの画質と高音質を駆使したフル・ナチュラルの世界。至福感に満ちた映像と音楽が、いつしか気持ちを穏やかでピースフルにしてくれます。あたかも大自然のふところに入り込んでしまったかのようなイージー・バーチャル・トラベルを立体映像でお楽しみください。ご自分の好みでツアーを組むこともできます。

3D映像を楽しんでいただくために、メガネをご用意しました。
あれこれ試して、見て、感じて、3Dの驚異の世界を発見してください。

3D MUSEUMは、ジャケット内にアタッチされている「視差メガネ」「RED&BLUEメガネ」か、別売の「液晶シャッターメガネ」をかけてご覧ください。また、裸眼による交差法でも立体映像をお楽しみいただくことができます。それぞれの3D映像に対し、最も効果的なメガネを画面上でインフォメーションしますが、ご自分でもいろんな使い方をお試しになってみてください。

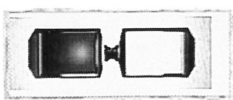


RED & BLUE 赤青メガネ

●アナグリフ方式と呼ばれる古くからある3Dインターフェイスです。DELIC SIDEの中に、たくさんこの方式に対応したクリップがあります。

このメガネをかけると、映像が自然に立体に見えてきます。なかには立体感のうすい作品もありますが、「出る！」と思ひ込むと、きっと映像が飛び出てきます。仮に立体感が得られないときも、「きてる！」という印象を受けると思ひます。

*1日20分以上は脳と目によくないので、かけすぎに注意しましょう。



PARALLAX 視差メガネ

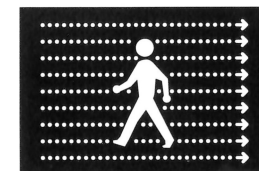
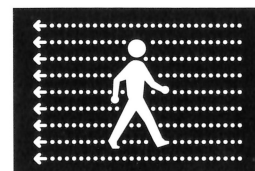
●奥行が深くなるこのメガネは、主にPEACE SIDEの「MUSIC ODYSSEY」に使用します。

映像が左→右へ動いている時には、メガネの「黒」が右目に、「白」が左目になるように装着します。逆に、映像が右→左へ動いている時には、メガネの「黒」が左目に、「白」が右目になるように装着します。脳の中で視差が生じ立体映像が見えてきます。ちなみに、お手持ちのホームビデオカメラで被写体を近景→遠景と横移動しながら撮影した映像も立体します。お試しください。

*視差メガネのご利用は、初心者は、連続10分以内。慣れたら15分、マニアは30分くらいまでが目安です。

背景が左に流れている時

背景が右に流れている時



LCD 3Dゴーグル (別売)

●DELIC SIDE、PEACE SIDEともに、多くの作品がこのメガネで楽しめます。

この3Dゴーグルを使用すると、とにかく100%まちがいがなく立体感を得られます。残念ながら付属にはできませんでしたが、別売にてお求めいただけます。ステレオ方式やランダムドット方式で一度も立体にならなかったかたも、このメガネをおかけになるとその作品がどんな作品だったのかが、すぐにもわかります。ぜひ、お試しください。おどろき・ニコリ・コーフンまちがいがなしです。

●3Dゴーグルセット
GOL-1 ¥10,000 (税別)
ADP-1 ¥5,000 (税別)
クリアビジョンテレビ、ハイビジョンテレビ等ではお楽しみいただけません。

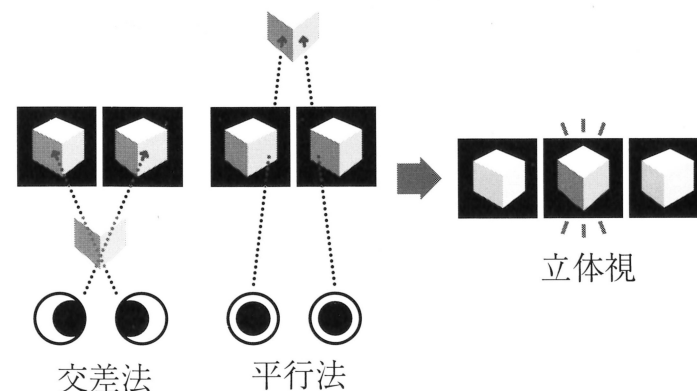


NAKED EYE 裸眼

●DELIC SIDE、PEACE SIDEともに、多くの作品がメガネなしでもお楽しみいただけます。

裸眼で楽しめる立体法には、目をよせて立体にする交差法と、遠くを見るかのようにぼんやりと見ていると立体感が得られる平行法の2通りの方法がありますが、本作品では、基本的に目をよせて見る方法の交差法で収録してあります。目をよせると交差した映像が真ん中で重なり映像が浮き出るように見えてきます。(慣れると、すぐできるようになります)

*平行法をお試しになりたいかたは、2台の同じくらい大きさのTVモニターを並べてPARALLAXモードを選択し、肉眼による平行法をお試しください。立体感が得られます。



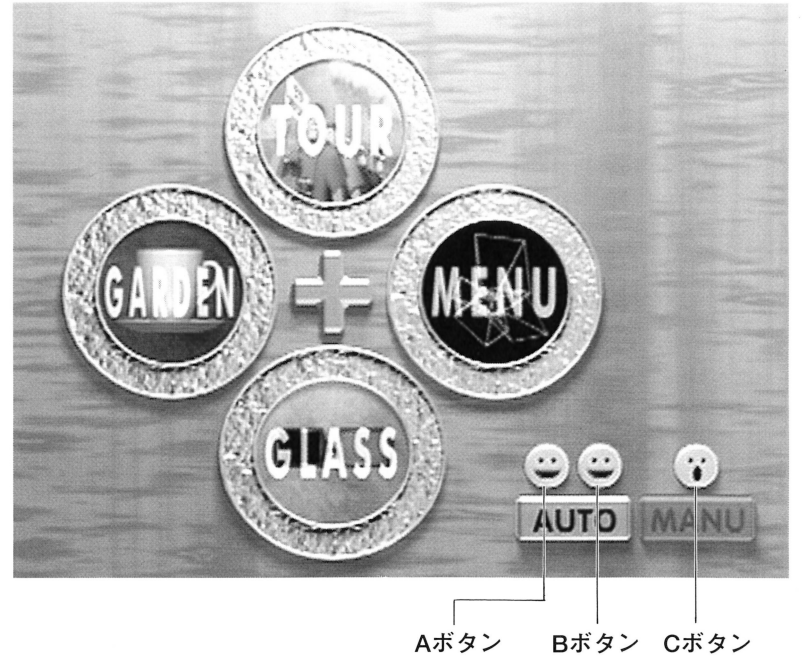
H O W T O E N T E R

■コントロールパッドについて



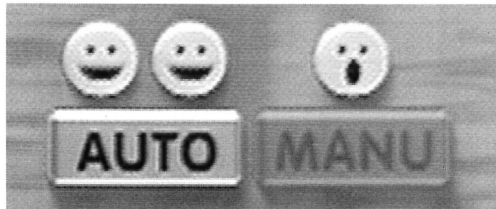
- Aボタン…選択画面のAボタンと対応しています。選択を決定するときに使用します。
 Bボタン…選択画面のBボタンと対応しています。通常はAボタンと共通。場面によってはポーズボタン（静止画再生）として使用します。押し続けている間、方向ボタンで別のコントロールモードを選択できます。
 Cボタン…選択画面のCボタンと対応しています。通常は選択したアイテムをキャンセルするときに使用します。Cを1回押すと、いつも1つ前のシーン、メニューに戻ります。
 ※X、Y、Z及びMODEボタンは使用しません。

■選択画面



■操作手順

- 1 ディスクをLaserActive対応C L Dプレーヤーにセットし、プレイします。
- 2 コントロールパッドのSTARTボタンを押します。
- 3 プログラムがスタートすると画面はMUSEUMのエントランスへ到着します。
- 4 エントランス選択画面
エントランスの机の上にある案内パネルが選択画面になったら、楽しみたいMODE (AUTO/MANU) を選択します。
*何も選択しないで3分間放置しておく自動的にDEMOツアーへと進みます。



AUTO

AUTOMATIC MODE

AUTO を選ぶと自動的にツアーになり、いろいろな作品が楽しめます。AUTOのツアー内容は、毎回違ったものが出るようにシステムされています。



MANU

MANUAL MODE

MANU を選択すると4つの丸いウィンドーがアクティブになります。方向ボタンでウィンドーを選択し、GOでそのプログラムが開始されます。キャンセルは、BACKで行ないます。1つ前のシーンまたはメニューへ戻ります。

5 各ウィンドーについて

マニュアルモードは、4つの丸いウィンドーからそれぞれの項目を選び、自分で決めて行動したい人のためのモードです。4つのウィンドーには、次のような機能があります。



GARDEN

GARDENは、待ち合わせ場所として、またはスクリーンセ이버として設定してあります。みんながメガネを用意できるまでの待ち時間やトイレに行っている人が戻ってくるまでの待ち時間にご利用ください。



GLASS

GLASSは、メガネを特定し、そのメガネで最も効果のあるツアーやクリップに参加したい人のための機能です。メガネの簡単なインストラクションが表示され、それに応じた迫力の3D映像がスタートします。



TOUR

TOURは、DELIC SIDE、PEACE SIDEの色々なパターンのツアーが用意されています。お好みのジャンルの、お好みのツアータイトルを選ぶだけで、素晴らしいツアーをナビゲートしてくれます。



MENU

MENUは、DELIC SIDEでは、クリエイターが独自の世界でセレクトした3D映像の企画展に会い、そしてPEACE SIDEでは、自分の好みにセレクトする至福の映像&音楽アンサンブルが楽しめます。

■方向ボタンについて

3D MUSEUMでは、方向ボタンがインタラクティブ性を加速してくれます。クリッププレイ中に画面上に現れる様々なエフェクトの選択設定も、方向ボタンを操作するだけですぐに対応。ソフトとの一体感、対話性が高まり、どんどんその世界へと入り込んで行くこと間違いなしです。

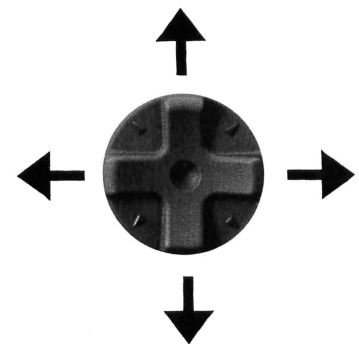
●選択画面では、プログラムの選択に！

①選択画面ではプログラムを選ぶときに使用します。

●プレイ中では、各種エフェクトの調整に！

②プレイ中では音楽や音量の選択・調整ができます。また、Bボタン（静止）を押したまま方向ボタンでマルチスピードコントロールができます。上下でスピードを変え、左右で再生方向をコントロールできます。

*クリップや選択画面によって操作できる機能が変わることがあります。いろいろ試して新しい使い方を見つけてみてください。



M A N U A L M O D E

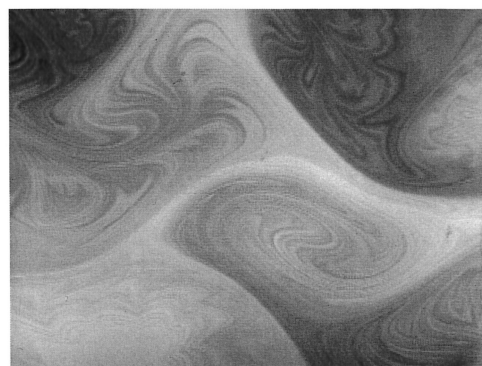


待ち合わせ場所として、
またスクリーン・セイバーとして
ご利用ください。

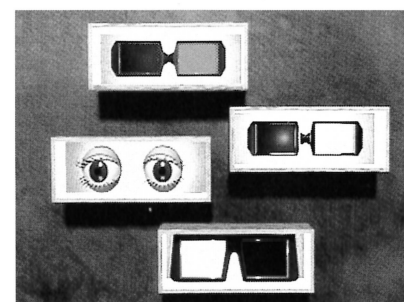


選んだメガネを基準に、
最も効果的なツアーやクリップを
ナビゲーションしてくれます。

- 1 エントランスの選択画面で MANU を選択します。
- 2 4つの丸いウィンドーから、方向ボタンで GARDEN を選択します。
* 選択画面でプログラムを選択せず3分間たつと、自動的にスクリーン・セイバーの機能が働き、GARDENのプログラムに進行します。
- 3 いくつかのシーンがランダムに選ばれ繰り返されます。
みんながメガネを用意できるまでの間や、トイレに行っている人が戻ってくるまでの待ち時間にご利用ください。
- 4 待機後、方向ボタンや他のボタンを押すと、始まる前の画面に戻すことができます。



- 1 エントランスの選択画面で MANU を選択します。
- 2 4つの丸いウィンドーから、方向ボタンで GLASS を選択します。
- 3 メガネ選択画面が開いたら、方向ボタンでメガネの種類を選択します。
- 4 GOでメガネの簡単なインストラクションが表示され、そのメガネをかけて楽しめるツアーやクリップに自動的に進みます。迫力ある3D映像をお楽しみください。



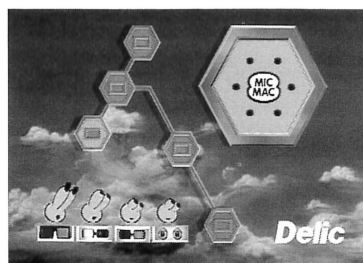
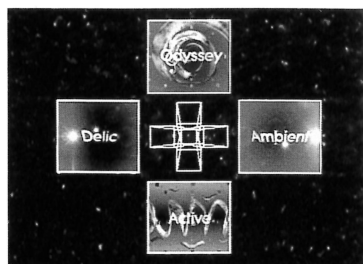
 <p>視差メガネ PARALLAX 主に、PEACE SIDEの「MUSIC ODYSSEY」に使用します。</p>	 <p>赤青メガネ RED & BLUE 主に、DELIC SIDEの「3D LIBRARY」の中に、この方式に対応したクリップがあります。</p>
 <p>3Dゴーグル (別売) LCD 「3D LIBRARY」、「MUSIC ODYSSEY」ともに、多くの作品がこのメガネで楽しめます。</p>	 <p>裸眼 NAKED EYE 「3D LIBRARY」、「MUSIC ODYSSEY」ともに、多くの作品がメガネなしでもお楽しみいただけます。</p>

●プレイ中にメガネの画面が表れることがあります。その場合は指定のメガネにかけかえていただく、さらに迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

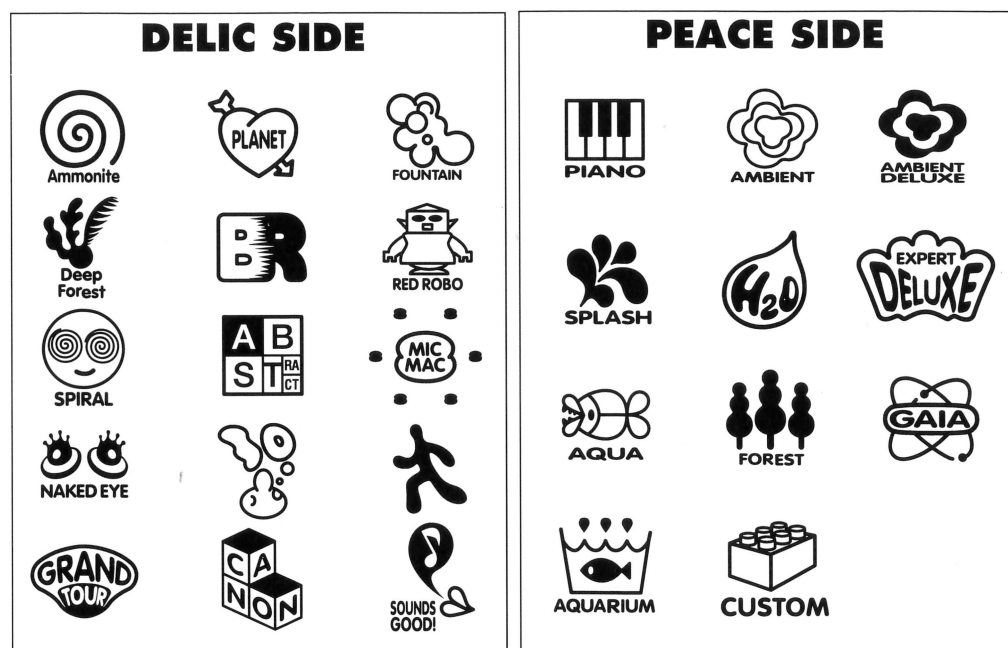


全26のツアー・パターンから、素敵なツアーをナビゲートしてくれます。

- 1 エントランスの選択画面で MANU を選択します。
- 2 4つの丸いウィンドーから、方向ボタンで TOUR を選択します。
- 3 DELIC SIDE (A面) : DELIC、AMBIENT、ACTIVE、MUSIC ODYSSEYの4つのツアージャンルが表示されます。方向ボタンで好みのジャンルを選びます。
PEACE SIDE (B面) : ツアー選択画面が開きます。
- 4 方向ボタンで参加したいツアーを選びます。この際、表示窓に対応するメガネが表示されます。(B面ではツアー時間も表示されます)
- 5 指示に従い、対応するメガネを準備します。
- 6 GO でツアーがスタートします。



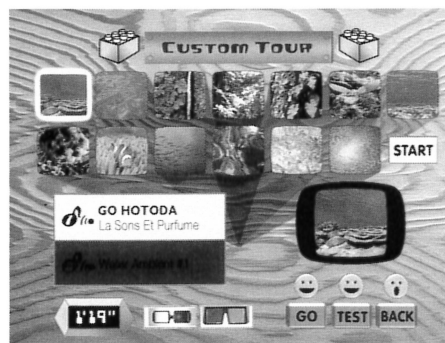
.....TOUR TITLE.....



CUSTOM TOUR

PEACE SIDE (B面) のMUSIC ODYSSEYには、自分で好みのツアーが組めるカスタム・ツアー機能がついています。

- 1 ツアー選択画面で CUSTOM TOUR を選択します。
- 2 カスタム・ツアーの選択画面が表示されます。方向ボタンでツアーに組みたいクリップを選び、GOでOKします。
- 3 方向ボタンの上下でお好みの音楽を選びます。作品を試し聴きたい時には中央の TEST で視聴することができます。BACKで選択に戻れます。
- 4 音楽を決定するとOKと表示されます。再びGOを押すと音とともに登録を知らせます。登録しなければBACKでOKをキャンセルできます。登録してBACKを押すとスタートにいけます。
- 5 作品と音楽をどんどん決定した後、方向ボタンまたはBACKで START を選択し、GOでカスタム・ツアーをスタートさせます。ここで中央のTESTを押すと、メモリーされた選択画面が次々に表示され登録した作品を確認できます。



●カスタムツアーの選択画面



カスタムツアーが登録されている場合



START OK画面

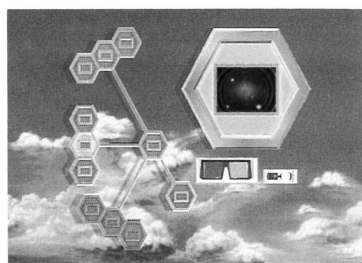
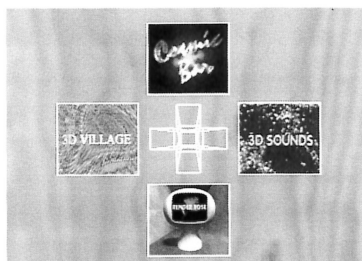
*メモリーしたカスタム・ツアーは、バックアップ・ラムにより保存されます(電源をOFFでも1カ月くらいはOK)。保存されたカスタム・ツアーがある場合はSTARTの表示が出てGOで始動します。そこで新たな登録(OK-GO)をすると、保存されたツアーは消えて新たなツアーを組むことができます。保存されたツアーに作品を追加したい場合は一度START OKの画面を選択してから新たな登録をしてください。但し、バックアップラムのメモリー容量が不足している場合は、カスタムツアーを組むことができません。メモリー容量を確保してから再スタートしてください。バックアップラムの容量確保の方法はご使用のコントロールバックの取り扱い説明書をご覧ください。



DELIC SIDEは、クリエイターが独自にセレクトした3D映像の企画展。
PEACE SIDEは、自分でセレクトする至福の映像&音楽アンサンブルが楽しめます。

DELIC SIDE

- 1 エントランスの選択画面で MANU を選択します。
- 2 4つの丸いウィンドーから、方向ボタンで MENU を選択します。
- 3 COSMIC BAR、3D VILLAGE、3D SOUND、RENDER ROSEの4つのジャンルの企画展が表示されます。方向ボタンでお好みの企画展の選択画面を開きます。
- 4 企画展の選択画面でお好みのクリップを選び対応するメガネを準備します。GO でスタートします。



※全てループ再生です。ループを解除(終了)する時はAボタンかCボタンを押してください。
※ボタンBは静止です。渦巻きの画面などはじっと見つめてタイミングをはかって止めると、絵がググッと飛び出てきます。いろいろ試してみてください。

PEACE SIDE

- 1 エントランスの選択画面で MANU を選択します。
- 2 4つの丸いウィンドーから、方向ボタンで MENU を選択します。MUSIC ODYSSEY では、右のような選択画面が現れます。
- 3 方向ボタンで見た映像を選択し、対応するメガネを準備します。
- 4 GO で決定します。キャンセルは BACK で行ないます。方向ボタンで音楽を変えることができます。



※全てループ再生です。ループを解除(終了)する時はAボタンかCボタンを押してください。

●DELIC SIDE SOUND INDEX D=DIGITAL TRACK

PEACE CUBE#1
D:A: BALINESE#1/HARUOMI HOSONO
NUMBER 4
D:A: LOOPY NUMERIC#1/EIKI NONAKA
NUMBER 2
D:A: LOOPY NUMERIC#2/EIKI NONAKA
EH2O
D:TRICO/GOH HOTODA
A:HINDI TUNE/HARUOMI HOSONO
PEACE CUBE#2
D:SHUFFLE#1/HARUOMI HOSONO
A: BALINESE#2/HARUOMI HOSONO
スパイラル
D:INNER MOTION#1/EIKI NONAKA
A: BELL~AIR#1/HARUOMI HOSONO
GREEN GROWTH
D:INNER MOTION#2/EIKI NONAKA
A: BELL~AIR#2/HARUOMI HOSONO
FOUNTAIN
D:FOUNTAIN-HEAD#1/EIKI NONAKA
A:WATER AMBIENT#1
RING
D:SON BINOCLE/MIHARU KOSHI
A: RINGER'S RING#1/EIKI NONAKA
3D PLANETS
D: SAMADI Part#1/EIKI NONAKA
A:ORBIT#1
F.O.E.
D: SAMADI Part#2/EIKI NONAKA
A:ORBIT#2
SPIRAL BALLS
D:TIME TUNNEL
A:ORBIT#3

SPIRAL BALL
D: BELL~AIR#3/HARUOMI HOSONO
A:GYRO LOOP#1
CYCLONE
D: BELL~AIR#4/HARUOMI HOSONO
A:GYRO LOOP#2
SPIRAL GRADE
D: BELL~AIR#5/HARUOMI HOSONO
A:GYRO LOOP#3
SPIRAL MIX
D:Labyrinth Part#1/EIKI NONAKA
A: BELL~AIR#6/HARUOMI HOSONO
SPIRAL
D: BELL~AIR#7/HARUOMI HOSONO
A:Labyrinth Part#2/EIKI NONAKA
JARAI CYCLIC
D:Labyrinth Part#3/EIKI NONAKA
A:La sons et Perfume/GOH HOTODA
水ファン
D:FOUNTAIN-HEAD#2/EIKI NONAKA
A:WATER AMBIENT#2
SPIRAL BALL R&B
D:INNER MOTION#3/EIKI NONAKA
A: BELL~AIR#8/HARUOMI HOSONO
SPIRAL DRIP
D:Quad Sync#1/EIKI NONAKA
A: RINGER'S RING#2/EIKI NONAKA
DRIP
D:Quad Sync#2/EIKI NONAKA
A: RINGER'S RING#3/EIKI NONAKA
R&B MIX "ROBO LOOP"
D:La sons et Perfume(PACIFIC MIX)/GOH HOTODA
A:GYRO LOOP#4

ELEKTRA
D:La sons et Perfume(PACIFIC MIX)/GOH HOTODA
A:GYRO LOOP#5
ANIMALS
D:La sons et Perfume(PACIFIC MIX)/GOH HOTODA
A:ZOOMING ZONE/EIKI NONAKA
RENDER ROSE
D:A:La sons et Perfume/GOH HOTODA
DARI
D:VIDA VOA#1/SEIGEN ONO
A:SHUFFLE#2/HARUOMI HOSONO
DARI R&B
D:Convert of the rainbow#1/SEIGEN ONO
A: FACIAL LOOP
HITO
D:NOCTURNE/GOH HOTODA
A:Omni Steps#1~#9/EIKI NONAKA
R&Bワイヤー~ミラーボール
D:VIDA VOA/SEIGEN ONO
A:SHUFFLE#3/HARUOMI HOSONO
ステレオマルチシルバー
D:SHUFFLE#4/HARUOMI HOSONO
A:VIDA VOA#2/SEIGEN ONO
BALL
D:SHUFFLE#5/HARUOMI HOSONO
A:GYRO LOOP#6
BALL~SATELLITE
D:Convert of the rainbow#2/SEIGEN ONO
A:SHUFFLE#6/HARUOMI HOSONO

●PEACE SIDE SOUND INDEX D=DIGITAL TRACK

森1・I LONG
D:AKATOMBO/MARCO BOSCO
A:DEEP TREE AMBIENT #1
空撮・滝
D:GONG WITH THE WIND/EIKI NONAKA
A:RENDEZVOUS:NUBIAN NIGHTS/YASUAKI SHIMIZU
魚1・テールサンゴ
D:LA SONS ET PURFUME/GOH HOTODA
A:WATER AMBIENT #1
森2・ショート
D: BALINESE/HARUOMI HOSONO
A:鍵のある日々のフラグメント/WONG WING TSAN
+DEEP TREE AMBIENT #2
魚2・カエルウオ
D:VILLAGEOISES-RUSTIQUE/MIHARU KOSHI
A:遥なる日々のために/WONG WING TSAN
珊瑚の海
D:AQUA COLORS/EIKI NONAKA
A:WATER AMBIENT #2
夕陽・ピース
D:SUN DAWN/EIKI NONAKA
A:WATER AMBIENT #3
魚4・ロング
D: MOTH AND CORTISONE/YASUAKI SHIMIZU
A:透明な庭/WONG WING TSAN
SPLASH
D:CANCAO DO SOL/MARCO BOSCO
A:NOCTURNE/GOH HOTODA
魚5・クマノミ
D:VILLAGEOISES-CODA/MIHARU KOSHI
A:BAHIA CALLING/MARCO BOSCO

クラゲ
D:JELLYFISH DANCE/EIKI NONAKA
A:WATER AMBIENT #4
岩ガニ
D: BELL~AIR/HARUOMI HOSONO
A:THE OTHER SIDE OF THE LAKE/MARCO BOSCO
バブル
D:AQUA COLORS #2/EIKI NONAKA
A:WATER AMBIENT #5
MY DEER
D:MY DEAR DEER/EIKI NONAKA
A:DEEP TREE AMBIENT #3

CREATORS MESSAGE

ようこそ3D MUSEUMへ。

世の中で最もピースでポーっとしていても誰からも変に思われない所はMUSEUMと観光地だと僕は思っています、このソフトも好きなだけ見てポーっとして頂けると幸せです。

裸眼で立体視するのに両目を少し寄り目にする方法がありますが、目を寄せすぎないのがコツで、10分もがんばって3つに見えてる絵の真ん中を見たいと思えばクッキリと見えます。見たいと思うのが大切で、一度できたら、あとは一生ほぼOK。僕はカフェとかで対面している2人の人間の顔を重ねてしまうクセがついてしまっています。

ピースサイドは何だか、SF映画で宇宙飛行士が地球という美しい星の水中や森をシミュレーションで見る時のソフトという気分ですが、本当に自然はすごいですよ。星も高い山とかの空気のきれいなところで見ると奥行きが超深くて、とてつもない程立体です。僕は初めてそう感じた時、腰が抜けました。

宇宙と地球に深く感謝。

Visual Producer & Director

中野裕之

あなたが今この瞬間感じている全ては、あなたの脳内に投影されたホログラフィックなVISIONだ。

次々に姿を変える認識、知覚、感覚のMAPの上を、静止することなく移動し続ける意識の流れ。これらはやがて渦と成り、そして一つの巨大なスパイラルへと繋がっていく。

我々がお届けするこの一枚のディスクには、AUDIO+VISUALの次元を超えたあらゆるスパイラルがプログラムされている。この様々な「流れ」に身を委ねインタラクトすることで、あなたは自分自身の脳と対話し、意識の地図を拡げる精神のヨロコビを体験するだろう。

それでは

"Have A Nice Trip!"

Audio Producer & Director

野中英紀

Racoon Studio. / Performed and Produced by Haruomi Hosono

Goh Hotoda : "Nocturne" (Go's Music inc.) / written by Goh Hotoda / Go Production music inc. "La sons et parfume" (Go's Music inc.) / written by Goh Hotoda and Philippe Saisse / Go Production Music inc. "Trico" (Go's Music inc.) / written by Goh Hotoda / Go Production music inc. / Performed by Goh Hotoda, Phillipe Saisse, Dee Fredrix, Nick Moroch / Recorded at Go Production Studio NYC, Valerian Studio NYC, Axis Studio NYC / Engineered by Goh Hotoda, Christian Wicht, Vaughn Merick / Mixed by Goh Hotoda / Produced by Goh Hotoda for Go Production Associates Inc.
Eiki Nonaka : "Jellyfish Dance", "My Dear Deer", "Aqua Colors", "Sun Dawn", "Gong with the wind", "Loopy Numeric", "Inner Motion", "Ringer's Ring", "Samadi", "Labyrinth", "Quad Sync", "Omni Steps", "Ripple Marks", "Sharper Images" / written by Eiki Nonaka / Performed by Eiki Nonaka / Recorded at Garden Studio / Mixed by Hideki Ishii and Eiki Nonaka / RSS Programed and Operated by Hideki Ishii / Produced by Eiki Nonaka
Seigen Ono : "Convert of the Rainbow", "Vida Voa"/written by Seigen Ono/Studio Garage Inc./Recorded at Montereux Jazz Festival,July 17,1993.

VISUAL STAFF

Visual Producer & Director : Hiroyuki Nakano (PEACEDELIC STUDIO)
Associate Producer : Chiaki Yamamura (PEACEDELIC STUDIO)
Creative Director : Mao Kawaguchi
Technical Director : Junichi Arai (PEACEDELIC STUDIO)
Assistant Director : Yo Kurita (PEACEDELIC STUDIO)
Menu Designers : Gento Matsumoto (SARUBRUNEI), Hisako Matsubara , Junichi Arai (PEACEDELIC STUDIO), Makito Sudo,Thomas Hollier
Visual Mixer & Editor : Junichi Arai (PEACEDELIC STUDIO), Hiroyuki Nakano (PEACEDELIC STUDIO)
Additional Video Mixer : Masaaki Yositate (EIZO-ONKYO-TSUSHINSHA, INC.)
Video Tape Mastering : Tomonori Furusawa (Qtec)
CG Executive Producer : Bob Beitcher (MAGIC BOX)
CG Producers : Hirofumi Ito (MAGIC BOX) , Jean H. Kim (Magic Box),Scott Fisher (TELEPPRESENCE RESEARCH)
CG Coordinators : Toshihiko Ohkawa, Adrienne Gruben (MAGIC BOX),Ted Alexandre (MAGIC BOX)
Special Thanks :Hidenori Takei
AUDIO PRODUCTION
Audio Producer & Director : Eiki Nonaka (STUDIO GARAGE)
Sound Engineer : Hideki Ishii

ただ向こうから飛び出してきてくれるだけでなく、こちらから入り込んでゆける。それが3Dのおもしろさのキモだと思う。又、それがマルチメディアのおもしろさでもある。慣れないことは、ちょっと疲れるかもしれないけど、初めはみんなそうなのよ。そのうち世界が立体する。

Creative Director

川口真央

3Dミュージアムの映像について

肉眼では追うことのできない第3の視点を感じる映像です。時間の外にいるのか、内側にとじこめられるのかかではないスリリングな感覚は音楽の持つものと似ているかもしれない。今後もし入り込んで、あるいははじきとんで下さい。

SOUND ARTIST

H. HOSONO

Garden Studio System Design : Seigen Ono

Ambient Sound Design : Ryuji Munetomo
Sound Production Manager : Masato Arai (WILLPOWER)
Additional Ambient Resouces : St.GIGA

Special Thanks :Keiji Ito (Medium Inc),Yasuo "yazoo"Tanigashira (Kinetic Art & Business,Inc.),Eiichi Azuma(Plankton),Kohhei Shibata(Polystar Co.,Ltd.)Jun Ohtsu(NEW FRONTIER RECORDS), Tetora Tanizaki,Mr.Araki,Masato Saito,Ken-ichi Namiki, (Continental Far East Inc.),Anthony Pilkington (AMS NEVE),Atsushi Okubo(Okubo Atsushi Jimusyo),Hirohito Shinohara(Hajime Tachibana Design),Yutaka Iwaki(Canon Hanbai Inc.),Hiroyuki Naomi(HEAVY MOON,Inc.),Fujiu Ikegami(NOVA &CO.,Ltd.),Makoto Yamato,Masashi Ihara - Satowa Music Kyohsuke Guro(Roland Corpolation), Seiji Mishima,Shuji Kitamura, Yoshihisa Saitoh (AUDIO CITY INC.),Fumio Adachi,Katsushi Abe,Tatsuo Shirai (AUDIO ADACHI),Yoshio K.,Eiko,Sojin,Tazuko,Nick Kato,Gino Akiyama,Kitsuda (YAMAHA GINZA),SOUND DESIGNERS UNION

OGASAWARA LOCATION STAFF

Cameraman : Hiroyuki Nakano (PEACEDELIC STUDIO)
Underwater Cameraman : Tadahiko Matsui (JAPAN UNDERWATER FILMS CO.LTD.)
1st Assistant Cameraman : Katsuhiko Takano (JAPAN UNDERWATER FILMS CO.LTD.)
2nd Assistant Cameraman : Keiu Suzuki (JAPAN UNDERWATER FILMS CO.LTD.)
Video Engineers : Hideyo Yamamoto (JAPAN CABLE TELEVISION CO.LTD.), Katsushi Nakajima (JAPAN CABLE TELEVISION CO.LTD.),Kaoru Koide (TOWER TV CO. LTD.)
Audio Engineer : Ryuji Munetomo (SOUND DESIGNERS UNION)
Location Coordinator : Takako Iwatani (I.C.E.R.C. JAPAN)
Special Thanks: Nobutoshi Kasai (KAIZIN),Mr. Tojo

OHDAIGAHARA LOCATION STAFF

Director : Mao Kawaguchi
Cameraman : Yujiro Yajima
Assistant Cameraman : Osamu Iida
Video Engineer : Kazuya Kato (JAPAN CABLE TELEVISION CO.LTD.)
Production Assistant : Hideyuki Nomura
HAWAII LOCATION STAFF
Aerial Photographer : Lee Alison
Helicopter Operator : Paul Morris (KENAI AIR HAWAII INC.)

中野さんと日常的に接していて凡人と違う所は、突然電子の粒子に分解したり結合したりする様子が如実に見える。人間の持つ観念というシステムの構造が、イギリスの古い車のようにとても効率よくできているのではないかと思います。そしてそこからくるイメージネーションは強烈なパワーをもって、脳のスペースを広げていくのでしょう。「3D MUSEUM」完成おめでと。

SOUND ARTIST

清水靖晃

綺麗な映像に音楽をつけることができ、とても楽しかったです。

SOUND ARTIST

コシ・ミハル

Stedycam Operator : Jeff Mart

Video Engineer : Katsushi Nakajima (JAPAN CABLE TELEVISION CO.LTD.)
Audio Engineer : Ryuji Munetomo (SOUND DESIGNERS UNION)
Coordinator : Jully Okada (SIZE INC.)

Thanks to : Wiemia Falls Park

UNDERWATER ADDITIONAL FOOTAGES

Cameraman : Tadahiko Matsui (JAPAN UNDER WATER FILMS CO.LTD.)
Production : JAPAN UNDER WATER FILMS CO, LTD.

AUTHORING STAFF

Programing Direction : Yoshikuni Ichikawa, Hiroshi Ueki
Assistant Director : Megumi Sato (STUDIO GARAGE)

PACKAGE DESIGN

Art Direction : Hajime Tachibana
Design : Gento Matsumoto (SARUBRUNEI)

Project Organizer : DENTSU INC.

Executive Producer : Kaoru Hayashi (STUDIO GARAGE)
Chief Multimedia Producer : Hiroyuki Nakano (PEACEDELIC STUDIO)
Multimedia Producer : Eiki Nonaka (STUDIO GARAGE)
CG(Digital Media Supervisor) : Hirofumi Ito (MAGIC BOX)
Art Director : Hajime Tachibana
Garden Studio Advisor : Seigen Ono

Associate Producer : Yasuyuki Rokuyata (STUDIO GARAGE)
Production Director : Yoji Nagumo (CREATIVE GARAGE)
Production Director : Chiaki Konagai (STUDIO GARAGE)
Production Accountant : Kazuhiro Sakaguchi (FROM GARAGE)

Visual Studio : STUDIO 629

Audio Studio : GARDEN STUDIO

SPECIAL THANKS

Naohiko Iwai ,Ryuichi Mori,Yukio Morisaki,
All musicians, creators, engineers and staff who dedicated their best to this project. Everyone at From Garage Group.
And all the people who helped to realize this project.

本ソフトを使用される場合は、極力疲れた状態で使用することはさけ、テレビ画面からできるだけ離れてプレイしてください。長時間プレイする場合は、健康のため、1時間ごとに10～15分の休みをとってください。	強い光りの刺激や、光りの点滅を受けたり、テレビ画面等を見たりしている時に一時的に筋肉のけいれんや、意識のそうしつ等の症状を経験したことのある人はテレビゲームをすること、で、ごくまれに同様な症状になる可能性がありますので、事前に医師に相談してください。また、方二のような症状がおきた場合には、すぐにゲームを止め医師に相談してください。	ひび割れや変形、または接着剤等で補修されたディスクは危険です。すから絶対に使用しないでください。又、レコードスプレー、静電気防止剤等の使用は、ひび割れの原因になります。	このソフトをお楽しみになる場合は、プロジェクションテレビをご使用にならないでください。プロジェクションテレビをご使用になると内部のブラウン管に画像焼きつきが発生することがあります。	このディスクをレンタルすること、及び無断でビデオテープ等に複製することとは、法律で禁止されており、違反行為に対しては刑事罰が規定されています。	ご使用後は必ずブレーヤーから取り出し、ジャケットに納めてください。直射日光の当たる所、高温・多湿の場所には保管しないでください。	この商品は、(株)セガ・エンタープライゼスが、「メガLD」専用のソフトウェアとして登録商標である SEGA の使用を許諾したものです。	このディスクは「メガLD」専用ディスクです。再生のためには専用プレーヤーシステムが必要になります。
---	--	--	--	---	--	--	---